

環境・社会報告書

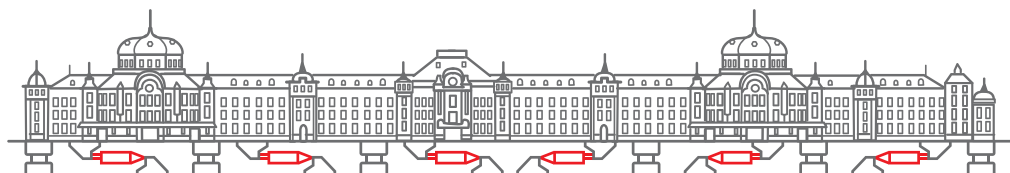
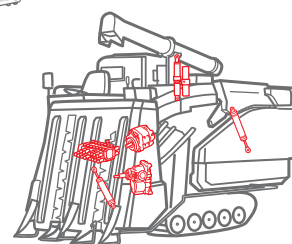
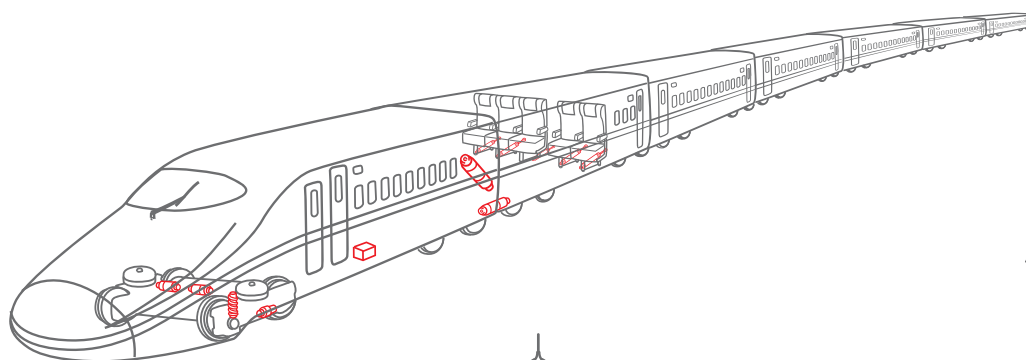
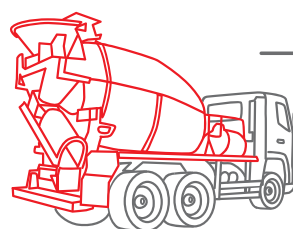
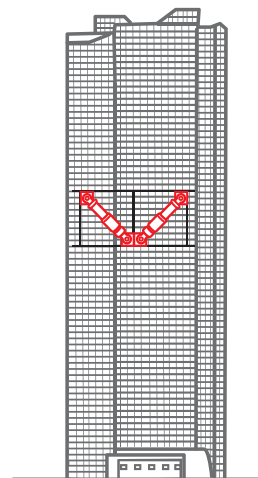
2015





Our Precision, Your Advantage

KYBグループは、
人々の暮らしを安全・快適にする
技術や製品を提供し、
社会に貢献しています。




編集方針

本報告書は、事業活動を行うに当たって、環境や社会に関わる情報をステークホルダーの皆様にはわかりやすくお伝えすることを目的に発行しています。2015年度版では、環境に配慮した新しい技術や省エネ活動、地域社会との連携などについて多くの具体的な活動事例を掲載しました。また、世界中に拠点を持つKYBグループとして、海外での取り組みも随所でご紹介しています。

今後とも、よりわかりやすい報告書の編集を目指してまいりますので、ステークホルダーの皆様の忌憚のないご意見を賜れば幸いです。

本レポートの内容は、当社のwebサイトにも掲載されていますので、ぜひご覧ください。

 <http://www.kyb.co.jp/company/csr.html>

対象期間

2014年4月～2015年3月

(一部期間外の取り組みや報告も掲載しています)

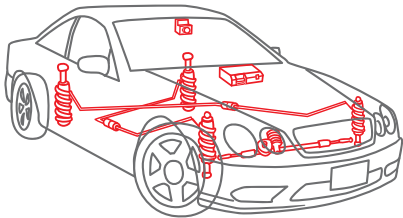
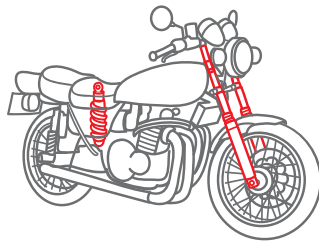
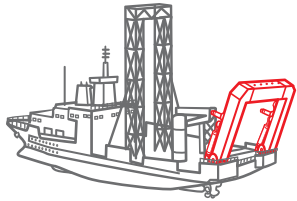
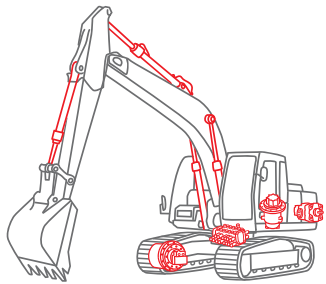
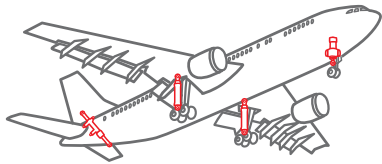
対象範囲

KYB株式会社および国内外の関係会社を対象としています。

各種の環境データに関しては、特に注記のない場合はKYB株式会社(相模工場、熊谷工場、岐阜北工場、岐阜南工場、岐阜東工場)のデータを示しています。

発行時期

2015年6月(次回:2016年6月予定、前回:2014年6月)



参考にしたガイドライン

- ・環境省「環境報告ガイドライン2012年版」
- ・GRI「サステナビリティ・リポーティング・ガイドライン第3.1版」などの考え方を参考に編集・作成しています。

将来の見通しに関する注意

本報告書には発行日時点における計画や見通し、経営計画・経営方針に基づいた将来予測を含んでいます。この将来予測は、記述した時点で入手できた情報により判断しており、諸条件の変化によって異なる可能性があります。ステークホルダーの皆様には、以上をご了承いただきますようお願い申し上げます。

Contents

- 2 編集方針・目次
- 4 トップメッセージ
- 6 KYBグループ概要
- 8 KYBグループの目指す姿

10 2014年度活動ハイライト

- 14 安全・快適で人と地球に優しい製品

マネジメント報告

- 16 経営マネジメント
 - コーポレート・ガバナンス
- 17 内部統制／コンプライアンス

環境報告

- 18 環境マネジメント
 - 環境基本方針
 - 環境保全に関する目標達成状況／環境会計
- 20 環境負荷の低減活動
 - 事業活動に伴う環境への影響
 - 地球温暖化防止活動
 - 生産拠点活動
 - 化学物質の管理と排出量の低減
 - 廃棄物低減への取り組み

社会性報告

- 26 お客様のために
 - お客様満足向上の取り組み
- 27 お取引先様とともに
 - パートナーシップの構築
- 28 地域社会のために
 - 社会支援活動
- 31 従業員とともに
 - 人財の活用と職場環境づくり
 - 人財育成と技術力の向上
 - 従業員コミュニケーション
 - 安全で働きやすい職場づくり

製品力と人財力を高め、 持続可能な社会の発展に 貢献してまいります

KYBは2015年、創立80周年を迎えることができました。この80年間KYBおよびKYBグループの活動にご支援いただいております皆様方に御礼申し上げます。KYBグループは今後も社業を通し成長し続け、皆様方の信頼を得られる企業になるため、国内外のKYBグループ一体となり活動を進めてまいります。皆様方におかれましては、今後も変わらぬご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

2014年度を振り返って

2014年度のKYBグループの連結での売上高は政府や日銀による経済・金融政策を背景とした円安基調の定着や株高の進行などが寄与し、期首計画の3,690億円を上回る3,704億円となりました。一方、経常利益はグループ全体で原価低減活動を主とする事業構造改革を推進致しましたが、人件費・研究開発費等が増加したこと、連結子会社での製品保証引当金等が増加したこと等から、期首計画の200億円に対し158億円という結果となりました。セグメント別に見ますと四輪車・二輪車用油圧緩衝器などから構成されるオートモーティブコンポーネンツ事業では売上高2,370億円、営業利益は68億円となりました。また産業用・航空機用油圧機器などから構成されるハイドロリックコンポーネンツ事業では売上高1,132億円、営業利益49億円となりました。

KYBグループの環境・社会への取り組み

KYBグループでは、人々の暮らしを安全・快適にする技術や製品を提供し、社会に貢献するために、さまざまな活動を行っております。

環境負荷を低減する活動として、2014年度は廃プラスチックのリサイクル化、排水系産業廃棄物のリサイクル化や塗料カスのバイオ処理等を開始致しました。2015年度は本活動をグループ各社に展開するとともに、エネルギー削減目標として2013年度比2%減、産業廃棄物削減目標として同6%減を達成するための活動を推進してまいります。

また社会貢献活動として、本報告書内でも活動内容を記載しておりますが、岐阜北工場では地下水浄化システムを導入し、災害時に飲料水を確保し、社内だけでなく近隣住民の方に提供できる仕組みを導入しました。

KYBグループは今後も生産・販売活動を展開しているさまざまな拠点で、地域の一員として貢献できる活動を実施してまいります。



80年のありがとう KYB 株式会社



KYB創立80周年記念ロゴ

KYBでは創立80周年の記念として左記の記念ロゴおよび看板を作成致しました。

「80周年の感謝と100周年への飛躍」をキーワードとして、Globalization(国際性)、Diversity(多様性)、Succession(伝承)の3つをコンセプトとして決定しました。

8のデザインはメビウスの輪をイメージして連続性を、0(ゼロ)の多重の円は多様性を、アースのデザインはグローバルな広がりをそれぞれ表現しています。

人財育成^{※1}・コンプライアンス

KYBグループでは、社会に貢献し続けるための人財育成を継続して行っております。また、KYBグループではコンプライアンスに特に力点を置き研修を続けております。グローバルでの法令遵守はもとより、会社の決めごと、企業行動指針を遂行することにより経営理念を実践していくための活動を今後も継続して実施してまいります。

最後に、KYBグループの環境と社会への取り組みを、本報告書を通じてご理解いただき、より多くのステークホルダーの皆様から引き続きご支援を賜れば幸いです。また本報告書に対する感想のみならず、KYBグループに対する忌憚のないご意見をお寄せください。

※1 KYBでは人材を財産と考え「人財」としています。



KYB株式会社
代表取締役社長執行役員

臼井政夫

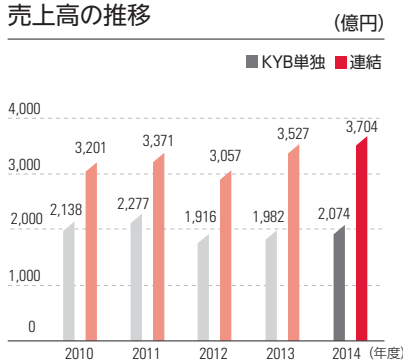
KYBグループ概要

会社概要

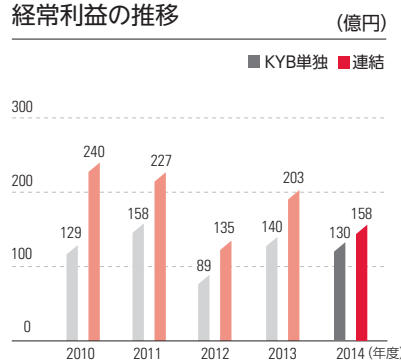
社名 KYB株式会社(商号:カヤバ工業株式会社)
創業 1919年(大正8年)11月19日(萱場発明研究所)
創立 1935年(昭和10年)3月10日(株式会社萱場製作所)
設立 1948年(昭和23年)11月25日(萱場工業株式会社)
本社 東京都港区浜松町二丁目4番1号世界貿易センタービル
代表者 代表取締役社長執行役員 白井 政夫
資本金 276億4,760万円(2015年3月末現在)

工場 熊谷工場、相模工場、岐阜北工場、岐阜南工場、岐阜東工場
研究・開発センター 基盤技術研究所、生産技術研究所
 開発実験センター、工機センター、電子技術センター
従業員 13,732名(2015年3月末現在・連結)
 3,661名(2015年3月末現在・単独)

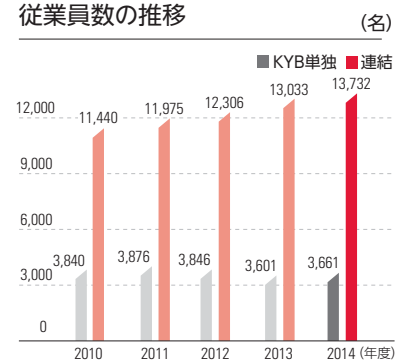
売上高の推移



経常利益の推移



従業員数の推移



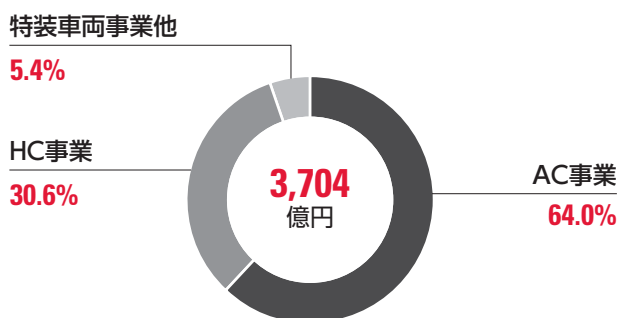
主な事業内容

AC(オートモーティブコンポーネンツ)事業
 ショックアブソーバ、サスペンションシステム、パワーステアリング、CVT油圧源用ポンプ、フロントフォーク、オイルクッションユニット、ステイダンパ、フリーロック

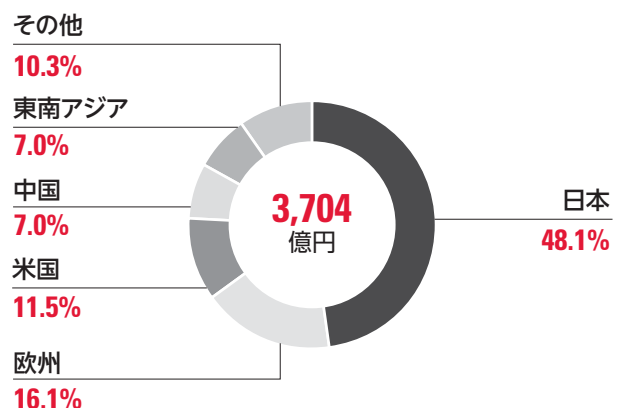
HC(ハイドロリックコンポーネンツ)事業
 シリンダ、バルブ、鉄道車両用オイルダンパ、衝突用緩衝器、ポンプ、モータ、航空機用離着陸装置・同操舵装置・同制御装置・同緊急装置

特装車両事業、システム製品および電子機器等
 コンクリートミキサ車、粉粒体運搬車、特殊機能車、シミュレータ、油圧システム、舞台機構、艦艇機器、トンネル掘削機、環境機器、免制震装置、電子機器

2014年度事業別売上高の構成(連結)



2014年度地域別売上高の構成(連結)



※ 記載されている売上高および対象範囲の詳細は、有価証券報告書をご参照ください。

国内関係会社

カヤバ システム マシナリー株式会社
 KYBトロンデュール株式会社
 KYB-YS株式会社
 KYB-CADAC株式会社
 KYB金山株式会社
 KYBモーターサイクルサスペンション株式会社
 株式会社東和製作所
 株式会社タカコ



KYBグループ生産拠点



海外関係会社

Americas

KAC	KYB Americas Corporation
TAC	Takako America Co., Inc.
KMEX	KYB Mexico S.A.de C.V.
KMB	KYB-Mando do Brasil Fabricante de Autopeças S.A.

Asia

KIMZ	凱迓必機械工業(鎮江)有限公司
KHIZ	凱迓必液圧工業(鎮江)有限公司
KWT	無錫凱迓必拓普減震器有限公司
KLRC	常州朗銳凱迓必減振技術有限公司
KMT	永華機械工業股份有限公司
KST	KYB Steering (Thailand) Co., Ltd.
KYBT	KYB (Thailand) Co.,Ltd.
KHMI	PT.KYB Hydraulics Manufacturing Indonesia

PT.KYBI	PT.Kayaba Indonesia
PT.知多	PT.Chita Indonesia
KMY	KYB Manufacturing Vietnam Co., Ltd.
TVC	Takako Vietnam Co., Ltd.
KMSB	KYB-UMW Malaysia Sdn.Bhd.
KSMSB	KYB-UMW Steering Malaysia Sdn.Bhd.
KMSI	KYB Motorcycle Suspension India Pvt.Ltd.
KCPL	KYB-Conmat Pvt.Ltd.

Europe

KYBSE	KYB Suspensions Europe, S.A.
KSS	KYB Steering Spain,S.A.
KAMS	KYB Advanced Manufacturing Spain, S.A.
KMCZ	KYB Manufacturing Czech s.r.o.
KCME	KYB CHITA Manufacturing Europe, s.r.o.

Our Precision, Your Advantage

企業の社会的責任がますます重要視される中、
KYBグループではステークホルダーの皆様の満足を得られる
企業グループとなることを目指し、
経営理念のもと、私たち一人ひとりが企業の責任を自覚し、
法令を遵守し行動に結びつけ、信頼される企業であり続けるために
企業価値向上を図っていきます。

ステークホルダーの皆様との関係



経営理念

人々の暮らしを安全・快適にする技術や製品を提供し、
社会に貢献するKYBグループ

1. 高い目標に挑戦し、より活気あふれる企業風土を築きます。
2. 優しさと誠実さを保ち、自然を愛し環境を大切にします。
3. 常に独創性を追い求め、お客様・株主様・お取引先様・社会の発展に貢献します。

ビジョン

人財育成

方針や戦略を深く理解し、情熱をもって目標を完遂できる人財を育成する。

技術・商品開発

世界のお客様が感動し、安心して、そして信頼される商品を提供する。

モノづくり

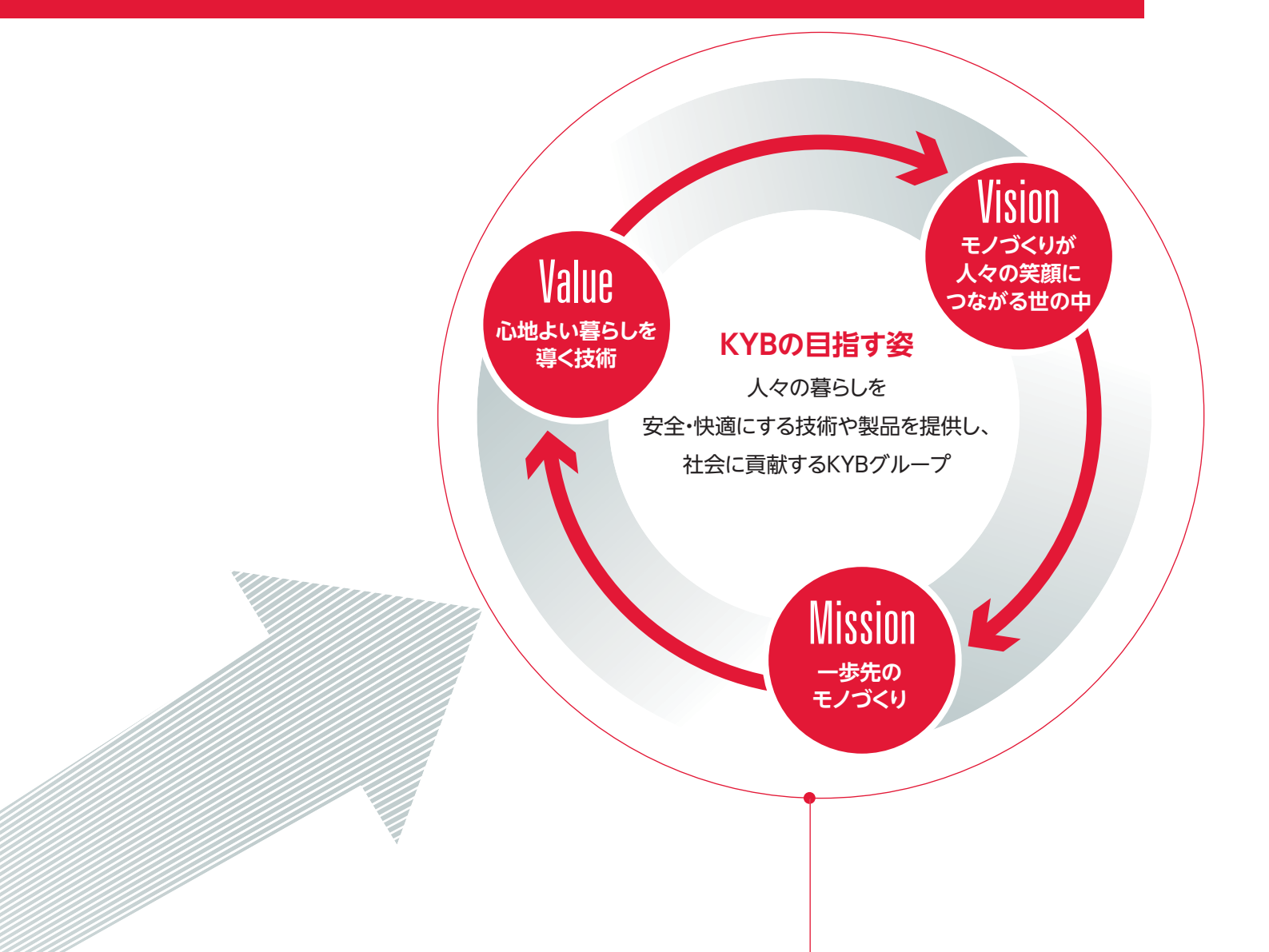
お客様が満足する商品をつくる喜びと躍動感に溢れ、同時に現場主義に徹した緊張感のある工場にする。

マネジメント

企業の社会的責任を常に自覚し、効率のよいグループ経営を行う。

行動指針

- | | | | |
|----------------|---------------------|-----------------|--------------------|
| (1) 企業倫理の確立と実践 | (8) お取引先との取引 | (14) 企業秘密の保持 | (20) 安全衛生 |
| (2) お客様第一主義の徹底 | (9) 迅速な苦情処理 | (15) 個人情報の保護 | (21) 教育および能力開発 |
| (3) 製品安全の追求 | (10) 業界団体等、諸団体の活動参加 | (16) その他会社財産の保護 | (22) 差別行為の禁止 |
| (4) 適正な会計・決算処理 | (11) 反社会的勢力との決別 | (17) 地域社会との共生 | (23) ハラスメント行為の禁止 |
| (5) 情報開示 | (12) インサイダー取引の禁止 | (18) 自然環境の保護 | (24) 児童労働、強制労働の禁止 |
| (6) 法令の遵守 | (13) 知的財産権の保護 | (19) 労使協調 | (25) 良好な職場環境の維持・改善 |
| (7) お客様との取引 | | | |



KYBグループの社会的責任

KYBグループでは事業活動の中で常に独創性を追い求め、お客様・株主様・お取引先様・社会の発展に貢献することを目指しています。

当社では経営理念とビジョンに基づいたCSR活動を各部署の年度実施項目に掲げ実践しています。そしてその行動をチェックして改善改新のサイクルを継続して実践しています。

従業員は当社の行動指針を携行しており、CSR(企業の社会的責任)の重要性の認識を深めています。

Vision

KYBブランドが実現したい世界

モノづくりが人々の笑顔につながる世の中

KYBが目指すのは、モノづくりのよここびが社会の発展を支え、人々の笑顔につながっていく、そんな世の中です。

Value

KYBブランドがお届けする価値

心地よい暮らしを導く技術

感覚的価値：心地よい暮らし、モノづくりのよここび

機能的価値：確かな品質

KYBがエンドユーザーに約束する価値。それは、独創的な技術と真摯な製品開発がもたらすワンステージ上の「心地よい暮らし」です。

KYBがお得意先様に約束する価値。それは、エンドユーザーまでも「お得意先様」と考えることから生み出される「確かな品質」です。

KYBが従業員に約束する価値。それは、一人ひとりが世の中を変えていくことを実感できる「モノづくりのよここび」です。

Mission

KYBブランドが果たすべき使命

一步先のモノづくり

KYBは、これまで培われてきた確かな技術力を生かして、お得意先様や市場に価値ある提案のできる企業であり続けます。新しい価値やかつてない満足を、お得意先様に提供していくために、自らの足で、一步先に進んだモノづくりを実践していきます。

2014年度活動ハイライト

コアコンピタンスである「振動制御技術」「パワー制御技術」にシステム技術、電子技術を融合し、さまざまな分野のお客様の幅広いニーズにお応えします。

今回のハイライトでは環境や安全に配慮した技術製品や環境配慮型工場を紹介します。

Highlight 1 製品開発

✳ 環境に配慮したミキサ車の開発

トラックシャシメーカーは、燃費向上やCO₂削減のため、アイドリングストップ機能付のトラックを標準的にラインアップしています。これまでのコンクリートミキサ車は、生コンの品質を維持するためドラムを常に回す必要があることから、その駆動源であるトラックのエンジンを停止することができませんでした。

KYBのアイドリングストップミキサシステムは、制御コントローラ(ECU)、バッテリー、電動モータ、サブポンプで構成さ

れ、走行中に充電を行い、トラックがアイドリングストップした際にドラムを駆動します。トラックの動きと連動し、運転手が意識することなく使えるシステムであり、既存油圧回路を利用した構成となっています。

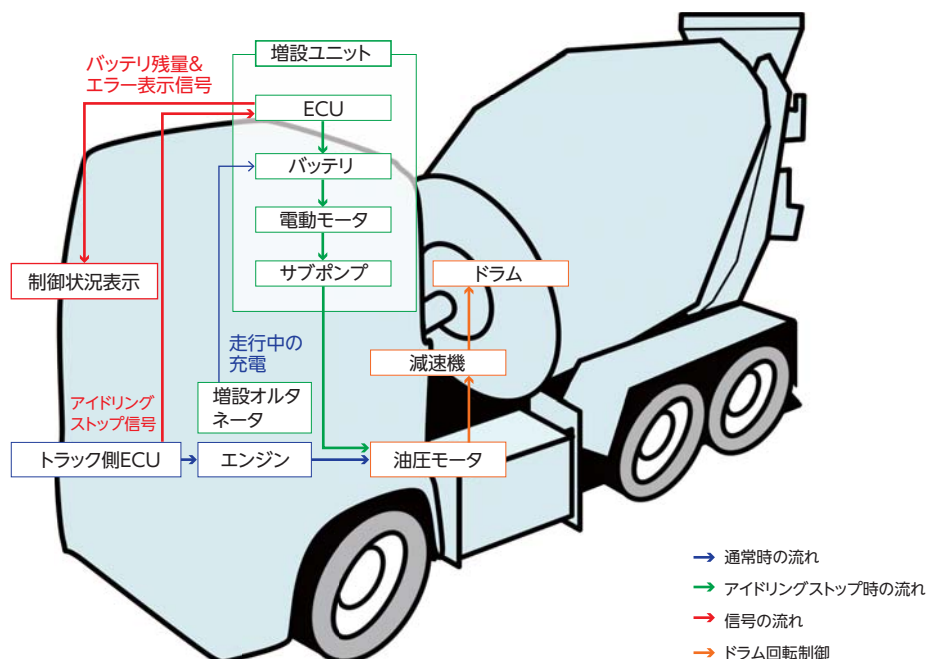
また、本システムの効果として年間軽油消費低減量は、約1,255ℓ(CO₂排出量換算で約3.28トン)となり、ミキサ車の作業全体で、従来比約27%の燃料を低減する環境に配慮したコンクリートミキサ車となっています。

年間軽油消費低減量

1,255 ℓ

CO₂排出量換算

3.28 t





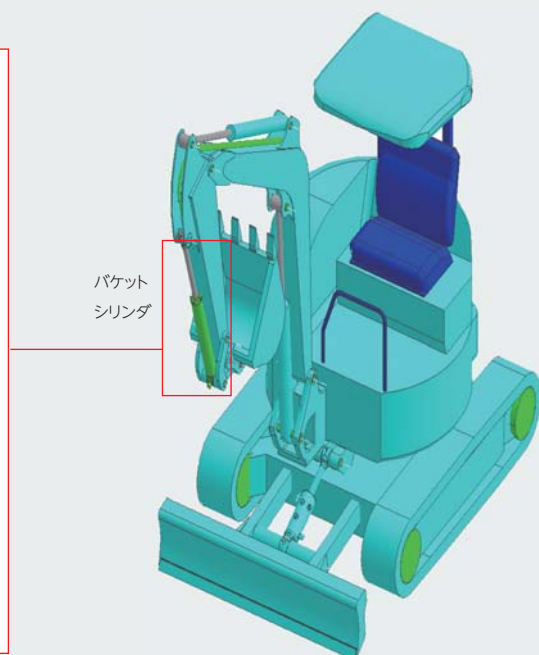
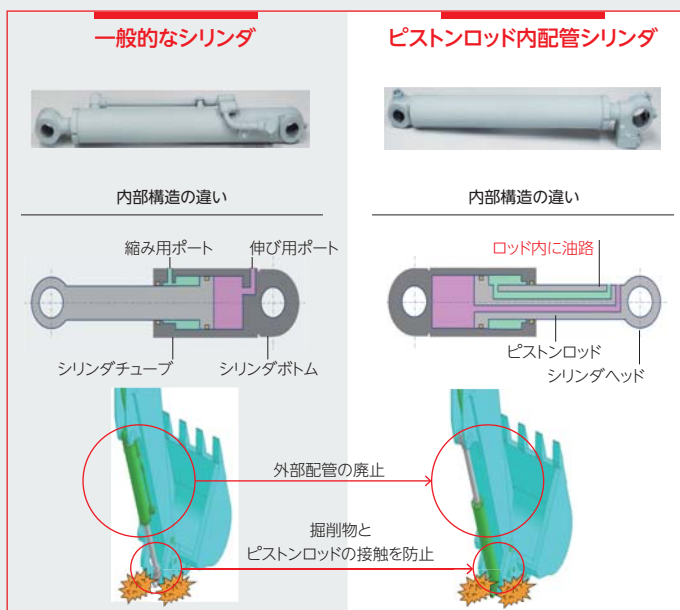
ピストンロッド内配管シリンダ(外部配管レス)の開発

油圧シリンダとは、外部から入力される圧油流体を直線運動へ変換し、高荷重を発生させるための装置で、耐久性を確保する技術が必要な製品です。通常、油圧を供給する伸び・縮みポートは、シリンダボトム・シリンダチューブ・シリンダヘッドで構成されるチューブ側に設置され、必要に応じ油圧配管が取り付けられます。

KYBが開発したピストンロッド内配管シリンダは、ピストン

ロッド内に油路をつくり、伸び・縮みポートをピストンロッド側に設けることにより、外部油圧配管をなくした外部配管レスのシリンダです。

外部配管がなくなることにより軽量化が可能となります。また、油圧ショベルの掘削作業時に被掘削物との接触の可能性が高いバケットシリンダに用いることでピストンロッド摺動面の傷つきを防ぐという効果が期待されます。





極小土地用免震オイルダンパ



地震による揺れが建物に直接伝わることを防ぎ、建物だけでなく居住者や家財への影響を小さくし安全・安心を確保する方法として、免震建物があります。従来の免震建物は建物が地面に対して横に大きく動くため、建物周辺に十分なスペースが取れないような都心部では適用が困難でした。

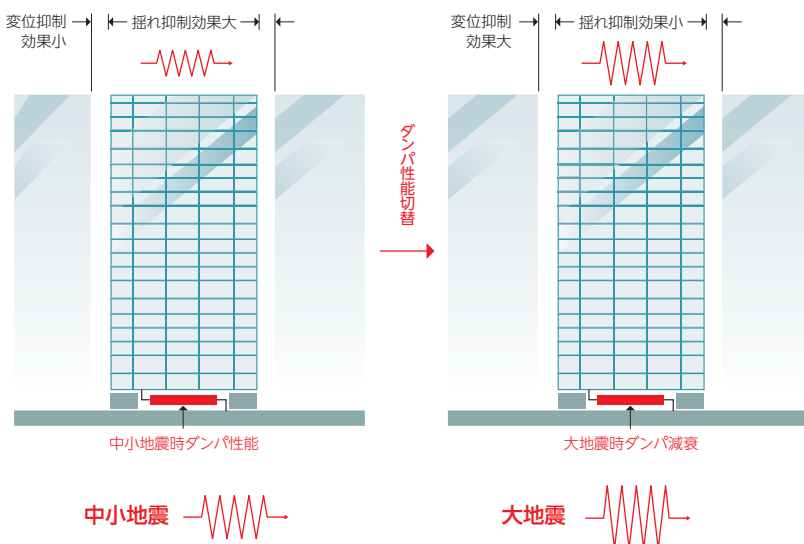
そこで、免震による建物の動きを従来の半分程度に制御する切替型の免震用オイルダンパを大成建設(株)殿と共同で開発しました。中小地震による揺れに対してはダンパの動きを阻害せず、大地震の際にはダンパの動きを抑制するようダンパ性能を機械的に切り替える機構を付加しました。

現在、都市型ZEB(ゼロ・エネルギー・ビル)の実験・検証施設である大成建設(株)技術センター内のZEB実証棟に採用されています。

このダンパの適用により、都心部で建物同士が隣り合うような狭い場所でも建物の免震化が可能で、高密度な市街地に建設する建物のさらなる安全性の向上に貢献していきます。

(本技術により第16回日本免震構造協会賞(技術賞)を受賞)

都市型小変位免震システム概要





環境に配慮した新工場

カヤバ システム マシナリー(株)では、東日本大震災以降の免制震ダンパの増産に伴う専用工場を、2013年12月に竣工しました。新工場では多様化するダンパ製品に対し、柔軟性を持たせた生産体制、生産ラインを構築しました。

新工場では以下の3つのコンセプト、生産・事務効率の向上、環境・安全・防災の向上、および省エネ・省資源を図っています。

①生産・事務効率の向上

工場内では空調設備設置による作業者負担の軽減、および異物混入の防止を図りました。事務所では、総合事務所に全部門を集結させ、間接部門の効率化と省エネ効果を実現しました。

②環境・安全・防災の向上

塗装専用工場を建設し、排気集塵装置の設置により、VOC対策を実施しました。また、建物への免制震ダンパの設置、主要設備の液状化対策により強靱な工場としました。

③省エネ・省資源の実現

事務所内の省エネ対策として、インナーライトシェルフによる自然採光、断熱性のよいサンドイッチパネルとLow-Eペアガラスなどの採用により環境負荷の低減を実現しました。

また、当工場は海拔1mの低地に立地するため、南海トラフ地震による津波を想定し、屋上に避難場所を設けました。また、地域住民の緊急かつ一時的な安全を確保するため、「津波発生時における緊急避難場所としての一時使用に関する協定」を津市と締結するなど地域社会への貢献を推進しています。



安全・快適で人と地球に優しい製品

皆様に笑顔と心地よい暮らしをお届けするため、モノづくりの技術を追求しています。
KYBグループの安全と環境に配慮した製品をご紹介します。

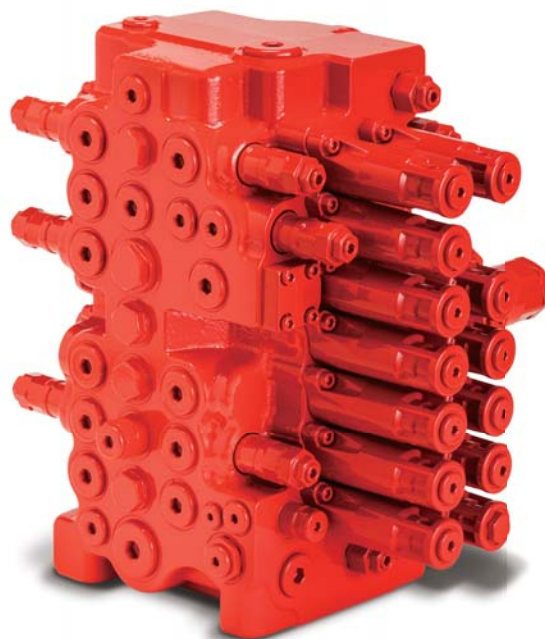
油圧ショベルの燃費低減に貢献

中型油圧ショベル用コントロールバルブ **KYMG-270-XF**

近年、油圧ショベルの排ガス規制強化に伴い、油圧機器への省エネ化・高効率化の要求が高まっています。

これに対応するため、20トンクラスの油圧ショベル向けコントロールバルブの開発を行いました。

油圧回路の見直しに加え、性能向上や電子化対応等の機能アップを盛り込むことで作動効率を向上させ、また部品レイアウトやサイズ、油路面積の最適化によりエネルギーロスとなる圧力損失を30%以上低減し、油圧ショベルの燃費低減に貢献する製品を開発しました。



小型ショベル用油圧ピストンポンプ **PSYL-84**

省エネ化の市場要求が高まる中、小型、軽量、高効率をコンセプトに、6~9トン小型油圧ショベル用油圧ピストンポンプを開発しました。エンジンの燃費低減に貢献すべく、ポンプ効率を約7%向上させました。また、製品重量を約18%低減し、製造時における材料使用を低減するとともに、摺動部材に鉛レス材料を積極的に使用しています。



ライダーに高い操縦安定性を提供



CRF450R(本田技研工業(株))

超軽量モトクロス用フロントフォーク

Pneumatic Spring Fork 2

KYBモーターサイクルサスペンション(株)では、オフロード用競技車両(モトクロス車)向けに、作動性のよさと大幅な軽量化を図った倒立フロントフォークPSF2(Pneumatic Spring Fork 2)を開発しました。空気ばねを利用したダンパ構造とし、従来のコイルスプリングタイプに比べ1kg(製品重量に対し12%)の軽量化、また軸受部へ積極的に油を供給する構造を採用することで、軽快なハンドリングと高い操縦安定性を実現しています。

あなたの町の“ごみ”を見守る 「ごみ検くん®」

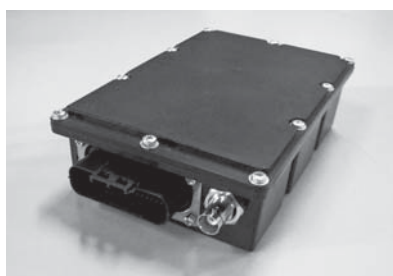
一般ごみは、各自治体で分別方法が決められ、それに基づいて回収されていますが、中には受入対象外のものなどが混在しており、処理工場の設備に悪い影響を与える場合があります。「ごみ検くん®」は、搬入物の中に不適物が混在していないかの検査をするための装置で、近年多くの自治体に導入されてきています。ごみの分別・減量をはじめとして、設備の維持費低減などに貢献しています。

廃棄物の分別・減量を実現



導入例: 北海道旭川市近文清掃工場殿

環境負荷物質低減を実現



運行支援用「携帯通信端末」

通信端末は、GPSと衛星電話・携帯電話を利用し、車両や建機などの運行状態のモニタリングや遠隔制御を支援するシステムです。携帯電話の電波が届く場所であれば、世界中で利用することが可能となります。

GSM・3G通信端末は、海外で販売利用されるため、RoHS指令に準拠し、環境負荷物質低減を実現するとともに、リサイクルできるように樹脂筐体としました。

今後も、位置(GPS)、通信、センサーをキーワードに、他分野にも応用していきたいと考えています。